

各位

会社名	アスクル株式会社
代表者名	代表取締役社長 CEO 吉岡 晃 (コード番号:2678 東証プライム)
問合せ先 役職・氏名	取締役 CFO 玉井 継 尋 TEL 03-4330-5130

## 自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ

(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得  
および会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)

当社は、2025年3月18日開催の取締役会において、下記のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること、および同法第178条の規定にもとづき自己株式の消却を行うことについて決議しましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 自己株式の取得および消却を行う理由

当社の利益配分は健全なキャッシュ・フローと安定した財務体質を維持しつつ、中長期的な企業価値向上のための成長投資原資としての内部留保を確保するとともに、株主還元の実と資本効率の向上を図るため、総還元性向の目標を45%と定め、安定的な株主配当と計画的な自己株式取得を実施してまいります。

2025年5月期における自己株式取得については、総還元性向の目標を45%とした株主還元方針にもとづき、1株あたりの年間配当金予想額を38円で計算した自己株式の取得額に加え、2024年5月期の親会社株主に帰属する当期純利益の計画に対する上振れ分を加算した総額20億円と設定し、2024年9月17日から取得を開始し、2024年12月20日に取得完了（自己株式取得総額19億45百万円）いたしました。

一方、2025年5月期の通期連結業績予想においては、売上高が期初計画よりも減少する見込みであり、売上高の見込みに合わせて、売上高と各段階利益を前回発表予想数値から本下方修正いたしました。

現在、売上高成長の回復を図るためDXによる価格適正化やお客様ニーズに応える品揃え拡大、オリジナル商品の強化等に取り組んでおり、施策の実行スピードを加速させてまいります。

また、2026年5月期の期初に稼働を予定している当社物流センター「ASKUL 関東DC」稼働後は、関東圏の物流センター再編により配送効率を向上させ、中長期での収益力強化につなげてまいります。

当社はこのような状況で、自己株式を取得することが資本効率を高める機会と捉え、総還元性向の目標45%の枠外で機動的な自己株式の取得および消却を実施いたします。

なお、本自己株式の取得に際して、プライム市場の上場維持基準の一つである流通株式比率（35%以上）の低下を回避する目的で、当社の主要株主であるLINEヤフー株式会社に事前に打診を行ったところ、同社からは、当社企業価値を最大化する観点から、2025年2月20日時点における同社の当社議決権比率（46.34%）維持を前提に、保有する株式の一部を売却する旨、了解を得ております。

本自己株式取得に要する資金は自己資金により充当する予定ですが、当社の 2025 年 2 月 20 日現在における連結貸借対照表上の現金および預金残高は 51,147 百万円であり、自己株式取得後も当社の手元流動性は十分確保できること、自己資本比率は 30%超維持、ならびに今後も安定的に事業から生み出されるキャッシュ・フローにより現金および預金の蓄積が見込まれることから、さらなる成長に向けた積極的な投資も併せて検討してまいります。

## 2. 自己株式取得の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得しうる株式の総数	5,000,000 株 (上限) (2025 年 2 月 20 日時点における自己株式を除く発行済株式総数に対する割合 5.28%)
(3) 株式の取得価額の総額	80 億円 (上限)
(4) 取得期間	2025 年 3 月 19 日～2025 年 9 月 30 日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付けおよび取引一任方式による市場買付け

## 3. 自己株式消却の内容

(1) 消却する株式の種類	当社普通株式
(2) 消却する株式の総数	上記「2. 自己株式取得の内容」により取得する自己株式の全数
(3) 消却予定日	2025 年 10 月 20 日

(参考) 2025 年 2 月 20 日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数 (自己株式を除く)	94,771,300 株
自己株式数	237,700 株

以 上